

# 鹿児島県女性労働力状態について

— 国勢調査結果にもとづいて —

坂 脇 昭 吉

(1982年10月15日受理)

On the Labour Force Status of Female in Kagoshima-Prefecture

— Based on Population Census of Japan —

Akiyoshi SAKAWAKI

## 目 次

- I はじめに
- II 本県女性労働力人口概観
  - (1) 人口推移
  - (2) 労働力人口の推移と現状
- III 本県女性就業者数の推移と現状
  - (1) 就業者数概観
  - (2) 年齢階級別就業者状態
  - (3) 産業分類別就業者状態
  - (4) 就業状態別就業者状態
  - (5) 従業上の地位別「家族従業者」状態
- IV 本県女性雇用者数の推移と現状
  - (1) 雇用者数の推移の概観
  - (2) 産業分類別雇用者状態
  - (3) 年齢階級別雇用者状態

## I. は じ め に

全国的にも有数の低所得県鹿児島において、本県の女性は、その就労の多くの部分を担い、貧しい家計を支えるに当って重要な役割を果してきた。第1表が示しているように、1955年(昭30)には本県の女性就業者は462,916人であり、就業者総数に占める女性就業の割合は47.8%であって、全国と同割合の38.6%を9.2ポイントも上回っていた。このように本県の高い女性就業者割合は、1975年(昭50)以降若干低下したものの、1980年(昭55)の今日(国勢調査の最新結果上)においても変えることはなく、42.7%の高い割合を示し、全国の割合38.7%を4ポイント上回っている。

しかしながら、1955年(昭30)当時の本県女性就業者の大半(80.3%)が、家族従業者として就労していたのである(第1表参照)。しかもその内の90.2%が農家の家族従業者として就業していたのである(第2表参照)。第1表に示しているように、女性就業者数に占める家族従業者の全国の比率が当時56.6%であった点からみて、いかにも本県女性の家族従業者数は高い水準にあったと言

第1表 鹿児島県女性就業者数及び家族従業者数推移 (1955～1980年) (15歳以上。以下同じ)

(資料:『国勢調査報告書』総理府統計局より作成  
以下第3表, 第4表, 第5表以外は同じ)

	就業者数			就業者に占める女性比 (%)		女性家族従業者		
	総数(A)	男	女(B)	本県 女	全国 女	実数(C)	女性就業者に占める比	全国同女性比
1955年(昭30)	968362	505446	462916	47.8%	38.6%	371647	80.3%	56.6%
1960 (35)	911251	475865	438255	47.8	40.6	244742	57.0	46.5
1965 (40)	842297	444739	397558	47.1	39.7	210515	53.0	39.5
1970 (45)	832691	435218	397473	47.7	39.3	178150	44.9	30.9
1975 (50)	798377	448283	350094	43.9	37.4	128609	36.7	25.7
1980 (55)	844029	483235	360794	42.7	38.7	116237	32.2	23.0

(注) 就業者に占める女性比率 =  $\frac{B}{A} \times 100$ 就業者に占める女性家族従業者比率 =  $\frac{C}{B} \times 100$ 

第2表 本県女性産業別家族従業者数推移 (1955～1980年)

	1955年(昭30)		1960年(昭35)		1965年(昭40)		1970年(昭45)		1975年(昭50)		1980年(昭55)	
	実数	構成比 %	実数	構成比 %	実数	構成比 %	実数	構成比 %	実数	構成比 %	実数	構成比 %
総数	317647	100	210515	100	244742	100	178150	100	128609	100	116237	100
第1次産業計	291826	91.9	178815	84.9	218677	89.4	143020	80.3	93826	73.0	75378	64.8
A 農業	286554	90.2	177580	84.4	214357	87.6	141370	79.4	92306	71.8	73607	63.3
B 林業・狩猟業	2746	0.9	371	0.2	1960	0.8	403	0.2	358	0.3	258	0.2
C 漁業・水産業・養殖業	2526	0.8	864	0.4	2360	1.0	1247	0.7	1162	0.9	1513	1.3
第2次産業計	3482	1.1	5990	2.8	3854	1.6	6998	3.9	6924	5.4	8217	7.1
D 鉱業	84	0.03	360	0.2	133	0.1	56	0.03	38	0.03	30	0.03
E 建設業	95	0.03	556	0.3	190	0.1	876	0.5	1401	1.1	2593	2.2
F 製造業	3303	1.0	5074	2.4	3531	1.4	6066	3.4	5485	4.3	5594	4.8
第3次産業計	22339	7.0	25661	12.2	22210	9.1	28130	15.8	27582	21.4	32418	27.9
G 卸売業・小売業	18271	5.8	19621	9.3	17761	7.3	21724	12.3	21469	16.7	24631	21.2
H 金融・保険業	60	0.02	190	0.1	58	0.02	81	0.1	71	0.1	111	0.1
I 不動産業	5	0.002			12	0.01	132	0.1	191	0.1	315	0.3
J 運輸・通信業	66	0.02			89	0.04	231	0.1	258	0.2	348	0.3
K 電気・ガス・水道・熱供給業	—	—	3	0.001	—	—	4	0.002	5	0.004	—	—
L サービス業	3937	1.2	5635	2.7	4290	1.8	5958	3.3	5588	4.3	7013	6.0
M 公務	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
N 分類不能	—	—	49	0.02	1	0.0001	2	0.001	277	0.2	224	0.2

えるであろう。

その後を開始されたわが国の高度経済成長期において本県の女性は、第3表, 第4表に明らかのように、中学、高校の新規学卒者を中心に大量に県外に仕事を求めて流出していくことになる。例えば、1962(昭37)以降1970年(昭45)までの間に71,251人の女子中学卒業者が、また、43,278

第3表 本県女子就職者数推移 (1960～1980年) (中学卒業者)

(資料:『鹿児島県統計年鑑』より作成)

	中学卒業者 数 (A)	女子卒業者 数 (B)	就 職 者		女 子 就 職 者		県外就職者		女 子 県 外 就 職 者	
			実 数 (C)	$(\frac{C}{A} \times 100)$	実 数 (D)	就職率 $(\frac{D}{B} \times 100)$	実 数 (E)	$(\frac{E}{C} \times 100)$	実 数 (F)	県外就職率 $(\frac{F}{D} \times 100)$
1960年 (昭35)	41,001	20,327	18,113	44.2	10,022	49.3	13,753	75.9	8,468	84.5
1961 ( 36)	32,382	16,101	14,309	44.2	7,904	49.1	11,684	81.7		
1962 ( 37)	42,783	21,077	17,580	41.1	9,703	46.3	14,930	84.9	8,721	89.9
1963 ( 38)	56,421	27,752	21,124	37.4	11,739	41.3	17,172	81.3	10,234	81.2
1964 ( 39)	58,204	28,506	21,023	36.1	11,690	41.0	17,538	83.4	10,426	89.2
1965 ( 40)	56,784	27,816	19,301	34.0	10,712	37.6	15,941	82.6	9,539	89.0
1966 ( 41)	51,579	25,229	16,169	31.3	9,126	36.2	12,424	76.8	7,784	85.3
1967 ( 42)	52,050	25,491	14,997	28.8	8,523	33.4	11,565	77.1	7,182	84.3
1968 ( 43)	48,983	23,892	13,418	27.4	7,527	31.5	10,511	78.3	6,365	84.6
1969 ( 44)	47,232	23,210	12,030	25.5	6,798	29.3	9,756	81.1	5,787	85.1
1970 ( 45)	45,551	22,297	10,624	23.3	5,996	26.9	8,835	83.2	5,213	86.9
1971 ( 46)	42,327	20,766	8,600	20.3	4,911	23.6	7,095	82.5	4,123	84.0
1972 ( 47)	41,423	20,443	7,490	18.1	4,367	21.4	5,930	79.2	3,622	82.9
1973 ( 48)	38,317	18,824	5,794	15.1	3,373	17.9	4,474	77.2	2,737	81.1
1974 ( 49)	37,301	18,294	4,641	12.4	2,715	14.8	3,503	75.5	2,157	79.4
1975 ( 50)	35,358	17,346	3,446	9.7	2,172	12.5	2,534	73.5	1,674	77.1
1976 ( 51)	33,377	16,486	2,532	7.6	1,653	10.0	1,710	67.5	1,203	72.8
1977 ( 52)	31,800	15,436	2,259	7.1	1,441	9.3	1,562	69.1	1,078	74.8
1978 ( 53)	30,168	14,851	1,932	6.4	1,282	8.6	1,223	63.3	882	68.8
1979 ( 54)	30,663	15,002	1,689	5.5	1,149	7.7	1,015	60.1	749	65.2
1980 ( 55)	30,037	14,703	1,409	4.7	945	6.4	918	65.2	666	70.5
1981 ( 56)	27,879	13,643	1,190	4.3	778	5.7	803	67.5	555	71.3

第4表 本県女子就職者数推移 (1960～1981年) (高校卒業者)

(資料:『鹿児島県統計年鑑』より作成)

	高校卒業者 数 (A)	女子卒業者 数 (B)	就 職 者		女 子 就 職 者		県外就職者		女 子 県 外 就 職 者			
			実 数 (C)	$(\frac{C}{A} \times 100)$	実 数 (D)	就職率 $(\frac{D}{B} \times 100)$	$(\frac{D}{C} \times 100)$	実 数 (E)	$(\frac{E}{C} \times 100)$	実 数 (F)	県外就職率 $(\frac{F}{D} \times 100)$	$(\frac{F}{E} \times 100)$
1960年 (昭35)	17,697	7,171	11,898	67.2	4,679	65.2	39.3	6,807	57.2			
1961 ( 36)	17,327	7,126	12,132	70.0	5,037	70.7	41.5	7,553	62.3			
1962 ( 37)	18,359	7,720	12,837	70.0	5,529	71.6	43.1	8,414	65.5	2,524	45.7	30.0
1963 ( 38)	18,290	7,790	12,484	68.3	5,384	69.1	43.1	7,873	63.1	2,570	47.7	32.6
1964 ( 39)	21,422	9,422	11,630	54.3	5,273	56.0	45.3	7,344	63.1	2,592	49.2	35.3
1965 ( 40)	21,271	9,485	14,878	69.9	6,854	72.3	46.1	10,209	68.6	3,892	56.8	38.1
1966 ( 41)	29,307	13,186	20,126	68.7	9,357	71.0	46.5	13,527	67.2	5,364	57.3	39.7
1967 ( 42)	32,145	14,132	21,901	68.1	9,983	70.6	45.6	14,422	65.9	5,631	56.4	39.7
1968 ( 43)	32,747	14,759	22,243	67.9	10,461	70.9	47.0	15,296	68.8	6,328	60.5	41.4
1969 ( 44)	31,787	14,253	21,817	68.6	10,401	73.0	47.7	15,544	71.2	6,677	64.2	43.0
1970 ( 45)	32,754	15,182	22,949	70.1	11,449	75.4	49.9	16,969	73.9	7,700	67.3	45.4
1971 ( 46)	31,702	14,782	21,981	69.3	10,927	73.9	49.7	16,725	76.1	7,573	69.3	45.3
1972 ( 47)	31,513	14,995	21,285	67.5	10,886	72.6	51.1	15,761	74.0	7,390	67.9	46.9
1973 ( 48)	31,643	15,148	20,819	65.8	10,827	71.5	52.0	15,279	73.4	7,351	67.9	48.1
1974 ( 49)	31,091	14,958	19,723	63.4	10,315	69.0	52.3	15,404	73.0	6,935	67.2	48.1
1975 ( 50)	31,176	15,243	18,864	60.5	10,123	66.4	53.7	13,941	73.9	7,008	69.2	50.3
1976 ( 51)	30,201	14,777	17,760	58.8	9,511	64.4	53.6	12,237	68.9	6,390	67.2	52.2
1977 ( 52)	30,436	14,943	17,769	58.4	9,595	64.2	54.0	11,530	64.9	6,088	63.4	52.8
1978 ( 53)	29,807	14,568	17,211	57.7	9,211	63.2	53.5	10,739	62.4	5,589	60.7	52.0
1979 ( 54)	28,528	14,174	16,135	56.6	8,681	61.2	53.8	9,421	58.4	4,913	56.6	52.0
1980 ( 55)	27,475	13,423	15,406	56.1	8,097	60.3	52.6	8,756	56.8	4,311	53.2	49.2
1981 ( 56)	26,403	13,137	14,816	56.1	7,731	58.8	52.2	8,359	56.4	4,044	52.3	48.4

人の女子高校卒業者が県外に就職したのである。こうした労働力人口の流出や、進学率の上昇にもなって、それ以後本県の女性就業者数も、家族従業者数も共に減少傾向をたどることになる。それでも、今日にいたるまで本県女性の雇用者数は着実に増加していると同時に、就業者総数に占める割合や、女性就業者に占める女性家族従業者数の比率、さらには後にみる本県雇用者総数に占める女性雇用者割合は、常に全国のそれぞれの比率を上回っているのであって、本県女性の男性に対する就業比率は特徴的に高い水準にある。

ところで、本県における女性の家庭内や社会における地位は、その就業率の高さに比べて概して低い状態にある。その原因がどこにあり、女性の地位向上のためには何がどのように改善されなければならないのかについては、議論の多いところである。こうした点との関連においても、私はひとまず、本県女性の労働力状態を国勢調査にもとづいて把握しておこうとするものである。

## II. 本県女性労働力人口概観

### (1) 人口推移

国勢調査結果によると、1980年（昭55）現在の鹿児島県の人口は1,784,623人である。その内、男性が839,329人、女性が945,231人である。第5表に示しているように、本県の人口は、1955年（昭30）に、国勢調査が初めて実施された1920年（大正9）以来最高の2,044,112人（内、女性1,058,495人）に達した。その後はわが国の高度経済成長期に人口の県外流出が激しく、1972年（昭47）に1,711,267人にまで減少した。最高時に比べて332,845人も減少したことになる。しかしながら女性人口の場合は、1973年（昭48）に915,764人となり、最高時に比べて142,731人の減少にとどまった。その後は徐々に回復し、今日に至っている。その間、女子の高校進学率の上昇に伴って、女性15歳以上人口そのものは大幅に減少することなく、第6表に示しているように、1960年（昭35）に、5年前比で約1万1,000人減少したものの、その後回復し、68万人から70万人台を維持してきた。そして1980年（昭55）現在の本県15歳以上人口は1,385,069人となっている。その内男性が635,845人、女性が749,224人となっており、総人口数とは逆に、1960年（昭35）以降、5年毎の国勢調査結果では全体として増加傾向を示している。それは、1955年（昭30）に比べても97,006人、男性35,047人、女性61,959人の増加となっており、特に女性15歳以上人口の増加傾向が目立っている。

### (2) 労働力人口の推移と現状

第6表に示しているように、本県の労働力人口は、1955年（昭30）に981,635人、内、男性514,041人、女性467,594人であったが、その後における新規学卒者の大量の県外流出と、進学率の上昇を中心とする非労働力人口の一貫した増加<sup>1)</sup>によって、1975年（昭50）に822,045人（女性は357,681人）にまで減少した。男性は1970年（昭45）に443,630人にまで減少した。

第5表 本県人口の推移（大正9年～昭和55年）

調査年月日	調査名	世帯数	人 口			男 女 比 女(100):男
			総 数	男	女	
大正14.10. 1	国 勢 調 査	313,547	1,472,193	713,702	758,491	94.1
昭和 5. "	"	322,088	1,556,690	753,644	803,046	93.8
10. "	"	332,632	1,591,466	773,126	818,340	94.5
15. "	"	327,684	1,589,467	765,603	823,864	92.5
20.11. 1	人 口 調 査	296,187	1,538,466	699,455	839,011	83.4
21. 4.26	"	322,360	1,629,760	759,468	870,292	87.3
22.10. 1	臨時国勢調査	362,384	1,746,305	835,712	910,593	91.8
23. 8. 1	常住人口調査	364,376	1,766,514	847,778	918,736	92.3
25.10. 1	国 勢 調 査	377,620	1,804,118	868,963	935,155	92.9
30. "	"	443,176	2,044,112	985,617	1,058,495	93.1
35. "	"	470,303	1,963,104	935,282	1,027,822	91.0
40. "	"	489,492	1,853,541	872,751	980,790	89.0
45. "	"	511,820	1,729,150	803,980	925,170	86.9
46. "	県推計人口	517,312	1,714,243	795,863	918,380	86.7
47. "	"	524,263	1,711,267	795,291	915,976	86.8
48. "	"	532,805	1,712,609	796,845	915,764	87.0
49. "	"	540,262	1,716,124	799,065	917,059	87.1
50. "	国 勢 調 査	550,297	1,723,902	804,365	919,537	87.5
51. "	県推計人口	558,331	1,734,176	810,986	923,190	87.8
52. "	"	566,699	1,744,847	817,394	927,453	88.1
53. "	"	574,875	1,755,534	823,623	931,911	88.4
54. "	"	583,114	1,767,280	829,943	937,337	88.5
55. "	国 勢 調 査	607,419	1,784,623	839,392	945,231	88.8
56. "	県推計人口	613,454	1,792,804	843,415	949,389	88.8

資料：鹿児島県民生労働部職業安定課『かごしま、労働市場年報』昭和56年版より

(注) 昭和20年～28年は名瀬市及び大島郡が、昭和20年～25年は鹿児島郡十島村が調査されていない。

第6表 本県15歳以上人口及び労働力人口推移（1955～1980年）

	15 歳 以 上 人 口			勞 働 力 人 口								非労働力人口	
	総 数	男	女 (A)	総 数 (B)	男	女 (C)	女性比率 ( $\frac{C}{B} \times 100$ )		女性労働力率 ( $\frac{C}{A} \times 100$ )		総 数	女	
													県
1955(昭30)	1,288,063	600,798	687,265	981,635	514,041	467,594	47.6	39.0	68.0	50.6	306,425	219,670	
1960( 35)	1,244,841	569,044	675,797	919,560	479,272	440,288	47.9	39.1	65.2	50.9	324,935	235,225	
1965( 40)	1,259,337	571,570	687,767	853,437	451,801	401,636	47.1	38.9	58.4	49.9	405,400	285,799	
1970( 45)	1,260,184	565,178	695,006	846,260	443,630	402,630	47.6	39.1	57.9	50.9	413,889	292,360	
1975( 50)	1,313,545	595,029	718,516	822,045	464,364	357,681	43.5	36.9	49.8	46.1	491,500	360,835	
1980( 55)	1,385,069	635,845	749,224	869,082	500,294	368,788	42.4	37.7	49.2	46.9	513,044	378,575	

しかしながら本県労働力人口は、1980年（昭55）に至って、総数では1965年（昭40）の853,437人を上回り、男性労働力人口も1960年（昭35）の479,272人を上回って、1955年（昭30）の人口に接近した。女性の労働力人口は、1975年（昭50）まで続いた減少傾向が1980年（昭55）に回復

に転じ、実数上は1975年(昭50)を11,107人上回った。そして、1980年(昭55)の本県女性15歳以上人口に占める女性労働力率は、49.2%とこれまでの最低の結果となっているものの、全国的女性労働力率の46.9%を2.3ポイント上回っている。こうした本県女性労働力率の高さは一貫した傾向であり、中でも1955年(昭35)には、17.4ポイントも上回っていた。

さらに、本県女性の労働力人口が、労働力人口総数に占める割合も、全国の同割合を常に上回っており、1980年(昭55)においても、本県女性労働力割合42.4%は、全国の同割合37.7%を4.7ポイントも上回っている。もっとも割合の高かった1955年(昭30)には8.6ポイント上回っていた。

第7表 本県女性非労働力人口推移(1955～1980年)

	15歳以上 女性人口 (A)	非 勞 働 力 人 口								
		実 数 (B)	$\frac{B}{A} \times 100$		家 事 (C)	$\frac{C}{A} \times 100$		通 学 (D)	$\frac{D}{A} \times 100$	
			県	全国		県	全国		県	全国
1955年(昭30)	687,265	219,670	32.0							
1960 ( 35)	675,797	235,225	34.8	49.1	138,091	20.4	35.4	35,736	5.3	6.3
1965 ( 40)	687,767	285,799	41.6	50.1						
1970 ( 45)	695,006	292,360	42.1	49.1						
1975 ( 50)	718,516	360,835	50.2	53.9	162,990	22.7		60,715	8.5	
1980 ( 55)	749,224	378,575	50.5	52.9	241,621	32.2	37.1	55,450	7.4	7.9

#### 註

- 1) 労働力人口と共に15歳以上人口を形成している本県女性の非労働力人口(休業者、完全失業者以外で、調査期間中に収入になる仕事を全くしなかった人)は、第7表に示しているように、1980年(昭55)において378,575人である。これは、15歳以上女性人口の50.5%であって、全国の52.9%を2.4ポイント下回っている。また、1980年(昭55)の本県女性非労働力人口の内訳としての「家事」従事者は、241,621人、「通学」者は、55,450人で、それぞれ女性15歳以上人口に占める割合は、32.2%、7.4%である。それらは共に、全国の同割合37.1%、7.9%をそれぞれ、4.9ポイント、0.5ポイントずつ下回っている。

### III. 本県女性就業者数の推移と現状

#### (1) 就業者数概観

本県の就業者総数は、第8表が示しているように、1980年(昭55)現在で、844,029人である。男性就業者数は483,235人、女性就業者数は360,794人である<sup>2)</sup>。総数では、1955年(昭30)以降一貫して減少していたのが、1980年(昭55)に1965年(昭40)の水準を上回り、1960年(昭35)の911,251人に次ぐ就業者数となった。男性就業者数も、1975年(昭50)から上昇傾向に転じ、1980年(昭55)の就業者数は、1955年(昭30)の505,446人に次ぐ高い就業者数となった。本県女性の就業者も1955年(昭30)以降一貫して減少傾向をたどっていたが、1980年(昭55)に初めて1975年(昭50)の350,094人を超えたものの、1970年(昭45)以前の就業者数を上回るまでには至っていない。

第8表 本県女性就業者数推移 (1955～1980年)

	女性15歳 以上人口 (A)	就業者数			就業者数に占める 女性比 $\left(\frac{C}{B} \times 100\right)$		女性就業率 $\left(\frac{C}{A} \times 100\right)$	
		総数 (B)	男 性	女 性 (C)	県	全 国	県	全 国
1955年(昭30)	687,265	968,362	505,446	462,916	47.8	39.1	67.4	49.9
1960 ( 35)	675,797	911,251	475,865	438,255	48.1	39.1	64.9	50.6
1965 ( 40)	687,767	842,297	444,739	397,558	47.1	39.0	57.8	49.3
1970 ( 45)	695,006	832,691	435,218	397,473	47.7	39.2	57.2	50.3
1975 ( 50)	718,516	798,377	448,283	350,094	43.9	36.9	48.7	45.3
1980 ( 55)	749,224	844,029	483,235	360,794	42.7	37.0	48.2	45.0

そして、女性15歳以上人口に占める本県女性就業率も、1955年(昭30)以降減少し続けており、1980年(昭55)は48.2%とこれまでの最低となった。しかしながら、全国的女性就業率との比較では、常に本県的女性就業率が上回っている。年々その格差は縮少しつつあるものの、1980年(昭55)には依然として、3.2ポイントの差が存在している。

また、就業者総数に占める女性の割合は、1955年(昭30)以降全体としては減少傾向にあるものの、それほどおおきな変化はなく、全国の同割合に比べて1980年(昭55)には、5.7ポイント上回っている。以上の点から本県的女性就業率や、女性就業者割合の高さが特徴的である。

第9表 本県男女別失業者数推移 (1955～1980年)

	労働力人口		完全失業者数		失業者率(%)		
	男(A)	女(B)	男(C)	女(D)	男 $\left(\frac{C}{A} \times 100\right)$	女 $\left(\frac{D}{B} \times 100\right)$	全国女性
1955年(昭30)	514,041	467,594	8,595	4,678	1.7	1.0	1.4
1960 (35)	479,272	440,288	3,407	2,033	0.1	0.1	0.6
1965 (40)	451,801	401,636	7,062	4,078	1.6	1.0	0.7
1970 (45)	443,630	402,630	8,412	5,157	1.9	1.3	1.8
1975 (50)	464,364	357,681	16,081	7,587	3.5	2.1	1.2
1980 (55)	500,294	368,788	17,059	7,994	3.4	2.2	2.0

## 註

- 2) 就業者数と共に労働力人口を構成する完全失業者(調査期間中に仕事をさがしている人)は、本県の場合、第9表に明らかなように、1980年(昭55)現在で、総数は25,053人で、その内、男性が17,059人、女性が7,994人である。労働力人口に占める完全失業者数としての失業者率は、本県の場合、男性は3.4%で、1975年(昭50)に比べて0.1ポイント減少したが、女性の場合は、これまでの最高の2.2%であり、これは全国的女性失業者率よりも、0.2ポイント高い結果になっており、仕事を探している女性が、本県的女性の中には比較的多いということを示している。

## (2) 年齢階級別就業者状態

第10表-(a), (b), (c), (d)によって本県女性就業者数を年齢階級別にみておこう。1980年(昭55)においては、45～49歳層が最も多く、45,186人で、構成比は12.5%である。次に多い層は、



第10表-(a) 本県女性就業者数年齢階級別推移 (1955～1980年)

	1955年(昭30)	1960 (35)	1965 (40)	1970 (45)	1975 (50)	1980 (55)
総 数	462,916	438,255	397,558	397,473	350,094	360,794
15 ～ 19歳	41,628	22,986	16,155	15,474	10,174	9,149
20 ～ 24	61,747	47,573	36,497	41,278	37,361	39,147
25 ～ 29	54,857	48,992	33,693	25,339	24,686	29,609
30 ～ 34	50,931	51,022	42,743	33,628	23,957	29,702
35 ～ 39	46,943	50,967	49,660	45,730	34,379	32,254
40 ～ 44	45,624	46,428	50,108	50,610	44,450	38,765
45 ～ 49	41,634	43,870	44,306	49,447	46,802	45,186
50 ～ 54	35,696	38,392	39,919	41,803	42,921	44,678
55 ～ 59	29,881	31,492	33,294	35,582	33,995	38,351
60 ～ 64	23,088	24,555	24,377	27,694	26,005	26,543
65 ～ 69	} 30,887	16,624	} 26,906	} 30,888	15,834	17,073
70 ～ 74		9,435			6,870	7,865
75 ～ 79		4,162			2,101	2,718
80 ～ 84		} 1,757			465	624
85歳以上					94	130
		*65歳以上計 31,978			*65歳以上計 25,364	*65歳以上計 28,410

第10表-(b) 本県及び全国女性就業者年齢階級別構成比(%)推移 (1955～1980年)

	1955年(昭30)		1960 (35)		1965 (40)		1970 (45)		1975 (50)		1980 (55)					
	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国				
15 ～ 19歳	9.0	13.5	5.2	13.2	4.1	10.7	3.9	7.7	2.9	4.4	2.5	3.4				
20 ～ 24	13.3	18.2	10.9	16.8	9.2	16.8	10.4	18.1	10.7	14.8	10.9	12.6				
25 ～ 29	11.9	12.8	11.2	12.1	8.5	10.4	6.4	10.0	7.1	11.5	8.2	10.2				
30 ～ 34	11.0	10.6	11.6	11.2	10.8	10.6	8.5	9.6	6.8	10.0	8.2	11.5				
35 ～ 39	10.1	9.5	11.6	10.2	12.5	11.5	11.5	11.2	9.8	11.1	8.7	11.9				
40 ～ 44	9.9	9.4	10.6	9.2	12.6	10.8	12.7	11.4	12.7	12.3	10.7	12.1				
45 ～ 49	9.0	7.9	10.0	8.5	11.1	8.9	12.4	10.1	13.4	11.5	12.5	11.8				
50 ～ 54	7.7	6.3	8.8	6.6	10.0	7.7	10.5	7.8	12.3	9.3	12.4	10.0				
55 ～ 56	6.5	4.8	7.2	4.9	8.4	5.6	9.0	6.2	9.7	6.6	10.6	7.3				
60 ～ 64	5.0	3.2	5.6	3.4	6.1	3.7	7.0	4.1	7.4	4.4	7.4	4.6				
65 ～ 69	} 6.7	} 3.7	3.8	2.1	} 6.8	} 3.3	} 7.8	} 3.9	4.5	2.5	4.7	2.8				
70 ～ 74			2.2	1.1					2.0	1.0	2.2	1.2				
75 ～ 79			0.9	0.5					0.6	0.6	0.8	0.5				
80 ～ 84			} 0.4	} 0.2					0.1	0.1	0.2	0.1				
85歳以上														0.03	0.02	0.04
			*65歳 以上 7.3	*65歳 以上 3.9					*65歳 以上 7.2	*65歳 以上 4.0	*65歳 以上 7.9	*65歳 以上 4.6				

第10表-(c) 本県女性年齢階級別15歳以上人口(1955~1980年)

	1955年(昭30)	1960 (35)	1965 (40)	1970( 45)	1975 (50)	1980 (55)
総 数	687,265	675,797	687,767	695,006	718,516	749,224
15 ~ 19	85,148	62,562	78,115	77,134	69,296	63,321
20 ~ 24	80,352	63,300	52,758	59,538	60,123	57,266
25 ~ 29	80,358	74,646	59,675	49,916	60,244	65,776
30 ~ 34	72,970	75,784	69,665	57,306	51,112	63,765
35 ~ 39	62,985	70,314	72,227	67,381	58,327	53,683
40 ~ 44	58,882	60,664	67,260	68,883	67,601	59,276
45 ~ 49	52,828	56,465	57,970	65,064	68,763	67,462
50 ~ 54	45,962	50,018	52,937	55,411	63,422	68,471
55 ~ 59	39,488	43,054	46,884	49,633	53,699	62,673
60 ~ 64	33,475	36,545	39,461	43,598	48,511	52,248
65 ~ 69	27,270	29,579	32,608	35,863	40,834	45,798
70 ~ 74	21,120	22,909	25,126	28,386	32,056	36,928
75 ~ 79	15,359	15,623	17,191	19,307	22,835	26,514
80 ~ 84	7,783	9,631	9,787	11,131	13,272	16,176
85歳以上	3,278	4,700	6,103	6,456	7,921	9,867

第10表-(d) 本県及び全国女性就業者の15歳以上人口に占める  
年齢階級別構成比(%)推移(1955~1980年)

	1955年(昭30)		1960 (35)		1965 (40)		1970 (45)		1975 (50)		1980 (55)	
	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国
総 割 合	67.4	49.9	64.9	50.6	57.8	49.3	57.2	50.3	48.7	45.3	48.2	45.0
15 ~ 19歳	48.9	48.3	36.7		20.7	18.4	20.0	35.1	14.6	22.0	14.4	17.9
20 ~ 24	76.8	66.6	75.2		69.2	68.3	69.3	69.2	62.1	64.6	68.4	68.5
25 ~ 29	68.3	51.5	65.6		56.5	46.0	50.8	44.3	41.0	42.2	45.0	47.8
30 ~ 34	69.8	49.1	67.3		61.4	47.9	58.7	46.8	46.9	42.5	46.6	45.5
35 ~ 39	74.5	52.4	72.5		68.8	57.2	67.9	56.0	58.9	52.2	58.2	54.8
40 ~ 44	77.5	55.3	76.5		74.5	62.0	73.5	63.3	65.8	59.1	65.4	61.2
45 ~ 49	78.8	54.2	77.7		76.3	61.6	75.0	64.3	68.1	61.3	67.0	61.6
50 ~ 54	77.7	50.5	76.8		75.4	57.5	75.4	60.6	67.7	58.0	65.3	58.1
55 ~ 59	75.7	45.9	73.1		71.0	49.8	71.7	53.4	63.3	50.2	61.2	49.9
60 ~ 64	69.0	39.1	67.2		61.8	39.5	63.5	43.1	53.6	38.7	50.8	38.3
65 ~ 69			56.2						38.8	26.0	37.3	26.4
70 ~ 74			41.2						21.4	14.4	21.3	15.3
75 ~ 79	41.3	21.1	26.6		34.0	17.7	30.5	19.6	9.2	7.5	10.3	8.3
80 ~ 84									3.5	3.5	3.9	4.2
85歳以上			12.3						1.2	1.8	1.6	2.0
			*65歳 以上 38.8						*65歳 以上 71.7	*65歳 以上 15.7	*65歳 以上 21.0	*65歳 以上 16.0

50～54歳層の44,678人で全体の12.4%を占めている。これらの層を全国の同一年齢階級層の就業者構成比と比較すると、45～49歳層は11.8%、50～54歳層は10.0%であって、それぞれ0.7ポイント、2.4ポイント本県が上回っている。ちなみに1980年(昭55)の全国の構成比の最多年齢層は20～24歳層で、全体の12.6%を占めている。こうした点から、本県女性就業者における中高年齢層が増加していると言えるであろう。また、最も女性就業者の多い年齢層を、1955年(昭30)から1980年(昭55)までみると、1955年(昭30)は20～24歳層の61,747人でその構成比は13.3%である。1960年(昭35)は30～34歳層の51,022人で11.6%、1965年(昭40)は40～44歳層の50,108人で12.6%、1970年(昭45)も40～44歳層で50,610人、12.7%、1975年(昭50)は45～49歳層で46,802人で13.4%、そして1980年(昭55)は前述のように45～49歳層である。このように本県女性就業者の最多年齢層は年々中高年齢化しているのである。

なお、1955年(昭30)以降実数、構成比共に一貫して増加し続けている層は、50～54歳層で、全体に占める構成比もそれぞれ、7.7%、8.8%、10.0%、10.5%、12.3%、12.4%である。この層は、15歳以上女性同一年齢層の65%以上が就業していることになる。1980年(昭55)に最も女性就業者の多かった45～49歳層は、実に67.0%が何らから状態で就業しているのである。中でも本県女性就業者数の最近の特徴として、65歳以上の就業者の増加を指摘しなければならないであろう。1970年(昭45)の30,888人には及ばないものの、1975年(昭50)に25,364人だった65歳以上本県女性就業者は、1980年(昭55)には28,410人にまで回復し、全体の7.9%を占めるに至っており、この構成比は1955年(昭30)以来最高である。この層が、15歳以上の同一年齢層に占める就業率は21.0%にまで達している。ちなみに、全国の同一年齢層の女性就業者全体に占める構成比は4.6%、同一年齢層の女性15歳以上人口に占める女性就業率は16.0%と、それぞれ、3.3ポイント、5ポイントずつ本県が上回っている。

### (3) 産業分類別就業者状態

第11表に明らかなように、本県の女性就業者数の産業別就業状態は、1980年(昭55)には、第3次産業就業者数が180,552人となり、全国の構成比60.1%に及ばないものの、50.0%と、全体の半数を占めるに至った。同時に、第1次産業に就業している層が、103,150人もおり、依然として全産業の28.6%を占め、全国と同割合13.7%に比べて依然として14.9ポイントも上回っている。農業県鹿児島の特徴が現われていると言えるであろう。しかしながら、かつて本県の第1次産業に従事する女性就業が、1955年(昭30)には355,237人あり、構成比は実に76.7%を占めていたのが、1980年(昭55)の現在に至る間に実数として252,087人、71.0%減少したことになる。

次に、増加したという点では、本県の第2次産業女性就業者も、かつて1955年(昭30)の20,084人、構成比4.3%から年々増加し、1980年(昭55)の現在では、76,572人、構成比で21.2%と、実数で56,488人、281.3%も増加している。中でも「製造業」での増加が著しく、1955年(昭30)の17,032人、構成比3.7%から、1980年(昭55)には62,471人、構成比17.3%へと、実数で

第11表 本県女性就業者産業別実数及び構成比推移 (1955～1980年)

	1955年(昭30)		1960 (35)		1965 (40)		1970 (45)		1975 (50)		1980 (55)		
	実数	構成比%	実数	構成比%	実数	構成比%	実数	構成比%	実数	構成比%	実数	構成比%	全国構成比
総数	462,916	100	438,255	100	397,558	100	397,473	100	350,094	100	360,794	100	
第1次産業計	355,237	76.7	305,770	69.8	234,180	58.9	196,549	49.4	129,248	36.9	103,150	28.6	13.7
A農業	348,833	75.4	300,106	68.5	231,256	58.2	193,741	48.7	126,458	36.1	100,034	27.7	13.1
B林業・狩猟業	3,636	0.8	2,855	0.7	1,215	0.3	1,091	0.3	1,126	0.3	818	0.2	0.1
C漁業・水産業・養殖業	2,768	0.6	2,809	0.6	1,709	0.4	1,717	0.4	1,664	0.4	2,298	0.6	0.5
第2次産業計	20,084	4.3	36,553	8.3	49,689	12.5	61,510	15.5	68,641	19.6	76,572	21.2	25.9
D鉱業	402	0.1	652	0.1	1,052	0.3	313	0.1	234	0.1	227	0.1	0.1
E建設業	2,650	0.6	12,064	2.8	12,576	3.2	7,873	2.0	9,563	2.7	13,874	3.8	3.3
F製造業	17,032	3.7	23,837	5.4	36,061	9.1	53,324	13.4	58,844	16.8	62,471	17.3	22.5
第3次産業計	87,555	18.9	95,876	21.9	113,425	28.5	139,329	35.1	150,763	43.1	180,552	50.0	60.1
G卸売業・小売業	41,464	9.0	48,481	11.1	54,200	13.6	62,522	15.7	68,351	19.5	80,994	22.4	27.2
H金融保険業	2,430	0.5	2,513	0.6	4,168	1.0	5,123	1.3	6,846	2.0	8,696	2.4	3.7
I不動産業	410	0.01	710	0.02			564	0.1	939	0.3	1,304	0.4	0.7
J運輸・通信業	2,909	0.6	3,637	0.8			5,102	1.3	4,962	1.4	5,376	1.5	1.9
K電気・ガス・水道・熱供給業	301	0.1	306	0.1	384	0.1	493	0.1	456	0.1	545	0.2	0.2
Lサービス業	32,226	7.0	36,958	8.4	44,890	11.3	54,816	13.8	60,083	17.2	74,133	20.5	24.4
M公務	8,184	1.8	3,910	0.9	4,611	1.2	10,709	2.7	9,126	2.6	9,504	2.6	2.0
N分類不能	40	0.01	56	0.01	264	0.1	85	0.02	1,442	0.4	520	0.1	0.3

45,439人、266.8%も増加したことになる。同様に、現在全産業の50%を占める第3次産業女性就業者数も、1955年(昭30)の87,555人、構成比18.9%から、実数で929,997人、106.2%も増加している。中でも、「卸売業」、「小売業」、「サービス業」部門において増加が著しい。例えば「卸売業、小売業」では、1955年(昭30)に41,464人、構成比で9.0%であったのが、1980年(昭55)には、実数で80,994人、構成比で22.4%となり、実数で39,530人、95.3%も増加した。また「サービス業」でも、実数で32,226人、構成比で7.0%から、74,133人、20.5%へと、実数で41,907人、130.0%増加し、増加率では、「卸売業、小売業」を上回っている。

#### (4) 就業状態別就業者<sup>3)</sup>状態

次に、就業状態別にみた本県女性就業者<sup>4)</sup>状態をみると、第12表に明らかなように、まず「主に仕事(に従事している人)」層は、1970年(昭45)以来、実数においてやゝ減少傾向にあるものの、1980年(昭55)には199,084人となり、本県女性就業者数に占める比率は、55.2%と、1970年(昭45)年の比率51.3%を上回った。それでも全国の同比率61.3%には6.1ポイント及んでいない。ところが、「主に仕事」総数に占める本県女性「主に仕事」層の割合も、1970年(昭45)の32.6%以降減少しているものの、1980年(昭55)の割合29.8%は、全国の同割合27.8%を2ポイント上回っている。こうした全国の割合よりも高い本県女性「主に仕事」層の就業者数は、今日までの一

第12表 本県女性就業者就業状態別推移 (1970～1980年)

	女性就業者数	主 に 仕 事						家事のほか仕事			通学のか たわら 仕事女性 実 数	女 性 休業者 実 数
		総 数	女 性 実 数	就業者に 占める比 $\left(\frac{C}{A} \times 100\right)$		総数に占 める比 $\left(\frac{C}{B} \times 100\right)$		女 性 実 数	就業者に 占める比 $\left(\frac{D}{A} \times 100\right)$			
				県	全国	県	全国		県	全国		
(A)	(B)	(C)	県	全国	県	全国	(D)	県	全国			
1970年(昭45)	397,473	626,489	203,971	51.3	63.1	32.6	29.5	188,703	47.5	41.0	1,990	2,809
1975 ( 50)	350,094	637,304	199,262	56.9	64.3	31.3	27.9	147,818	42.2	34.3	1,279	1,735
1980 ( 55)	360,794	667,781	199,084	55.2	61.3	29.8	27.8	157,421	43.6	37.1	1,636	2,653

貫した実態である。

また、本県女性就業者の「主に仕事」層を、第13表によって年齢階級別に概観してみると、1980年(昭55)において、最も就業者数の多い層は、20～24歳の34,983人で、全体に占める構成比は、17.6%である。次に多い年齢層は50～54歳層で23,306人であり、その構成比は11.7%である。こ

第13表 本県女性就業者年齢階級別就業状態推移 (1975, 1980年比較)

	主 に 仕 事				家 事 の ほ か 仕 事				休 業 者	
	1975年 (昭50) 実 数	1980 (55)  実 数	構成比 (%)		1975(50)  実 数	1980 (55)  実 数	構成比 (%)		1975(50)  実 数	1980(55)  実 数
			県	全国			県	全国		
総 数	199,262	199,084	100	100	147,818	157,421	100	100	1,735	2,653
15 ～ 19歳	8,724	7,661	3.8	4.7	432	347	0.2	0.3	38	56
20 ～ 24	32,872	34,983	17.6	18.3	4,054	3,501	2.2	2.5	205	228
25 ～ 29	15,992	19,113	9.6	11.8	8,460	10,099	6.4	7.4	211	340
30 ～ 34	11,771	14,107	7.1	10.2	12,068	15,351	9.8	13.7	106	223
35 ～ 39	16,655	14,378	7.2	9.9	17,611	16,702	10.6	15.7	106	158
40 ～ 44	22,572	18,616	9.4	10.5	21,749	19,975	12.7	15.0	125	166
45 ～ 49	25,092	22,924	11.5	11.1	21,541	21,992	14.0	13.4	165	268
50 ～ 54	23,061	23,306	11.7	9.7	19,634	21,058	13.4	10.9	219	308
55 ～ 59	18,079	19,462	9.8	6.7	15,686	18,573	11.8	8.5	223	314
60 ～ 64	12,886	12,424	6.2	3.8	12,970	13,859	8.8	5.9	146	257
65 ～ 69	7,385	7,410	3.7	2.1	8,353	9,477	6.0	3.9	98	185
70 ～ 74	3,004	3,286	1.7	0.9	3,807	4,495	2.9	1.9	59	82
75 ～ 79	918	1,107	0.6	0.3	1,158	1,572	1.0	0.7	24	39
80 ～ 84	209	253	0.1	0.1	249	353	0.2	0.2	7	18
85歳以上	45	52	0.03	0.02	46	67	0.04	0.1	3	11
市 部 計	104,958	110,100			65,928	73,617			1,088	1,565
郡 部 計	94,304	88,984			81,890	83,804			647	1,088

の層の全国同一年齢層の同構成比 9.7% に比べて、2 ポイント上回っている。ちなみに、全国的女性就業者「主に仕事」層の最も多い年齢層は、本県と同様 20～24 歳層で、構成比 18.3% である。次に多い層が 25～29 歳層で、11.8% となっており、本県の 2 番目に多い層である 50～54 歳層は、全国では第 6 番目である。こうした点からみても、本県女性就業者の「主に仕事」層も、中高年齢化していると言えるであろう。

次に、「家事のほか仕事（に従事している人）」層について、第 12 表によって概観してみると、1970 年（昭 45）以降も減少しているものの、1980 年（昭 55）現在で、157,421 人、本県女性就業者総数に占める比率は、43.6% となっており、これは、全国の同比率 37.1% を 6.5 ポイントも上回っている。これを、第 13 表によって年齢階級別にみると、最も多い「家事のほか仕事」層は、45～49 歳層で、実数で 21,992 人、全体に占める構成比は、14.0% で、全国の同一年齢層の同構成比 13.4% を 0.6 ポイント上回っている。反面、全国的女性就業者の内「家事のほか仕事」層の最も多い年齢層は、35～39 歳で、全体に占める構成比は 15.7% となっている。本県は、この年齢層の構成比はいまだ 10.6% だから、全国的には、比較的若い層にも「家事のほか仕事」という層が増えていると言えるだろう。

#### 註

- 3) こうした分類名称は、「国勢調査」では使用していないが、「就業構造基本調査」等では使用されている分類方法である。そして就業状態別にみた就業者を、「休業者」と区別して「従業者」と呼んでいる。
- 4) 従業者（「主に仕事」、「家事のほか仕事」、「通学のかたわら仕事」と共に就業者を構成している本県女性「休業者」（仕事を持ちながら、調査期間中仕事をしなかった人）は、第 12 表によれば、1970 年（昭 45）の 2,809 人には及ばないものの、1980 年（昭 55）には 2,653 人となり、1975 年（昭 50）の 1,735 人を 918 人上回っている。第 13 表によって、本県女性「休業者」を年齢階級別にみれば、1975 年（昭 50）当時 223 人と最も多かった 55～59 歳層に代って、1980 年（昭 55）は、25～29 歳層が 340 人と最も多い年齢層となった。

#### (5) 従業上の地位別「家族従業者」状態

本県的女性就業者状態の 1 つの特徴として、「家族従業者」数の多さが指摘しうるであろう。第 1 表にもとづいて、I の「はじめに」でも若干ふれたように、本県女性「家族従業者」数は、1955 年（昭 30）に 371,647 人（これは実に、女性就業者数の 80.3% を占めていた）を数えたが、1980 年（昭 55）の今日では、116,237 人と約 1/3 に減少した。しかしながら、本県女性就業者に占める「家族従業者」の比率は、32.2% であって、全国の同比率 23.0% に比べて、9.2 ポイントも上回る高い比率を示している。

ところで、先にもふれたように、1955 年（昭 30）当時、本県女性「家族従業者」の 91.9% が、第 1 次産業に従事しており、しかもその内、90.2% が農業に従事していた。1980 年（昭 55）の現在でも、第 2 表に明らかなように、64.8% が農家の「家族従業者」として従事しているのだが、1955 年（昭 30）当時、22,339 人と、構成比でわずか 7.0% だった第 3 次産業の女性「家族従業者」が、1980 年（昭 55）の現在では、32,418 人、構成比 27.9% と、実数で 10,079 人、145.1% も増加して

いる点が注目される。中でも、「卸売業、小売業」と、「サービス業」の増加が顕著であって、前者は、1955年（昭30）当時の18,271人、構成比5.8％から、1980年（昭50）現在には、24,631人、構成比21.2％となり、実数で、6,360人、134.8％の増加となった。また後者の「サービス業」も、実数で3,937人から7,013人へ、構成比で1.2％から6.0％へと、実数で3,076人、88.1％増加した。

#### IV. 本県女性雇用者数の推移と現状

##### (1) 雇用者数の推移の概観

第14表に示しているように、本県女性雇用者数は、1955年（昭30）に68,068人、女性就業者数に占める比率は14.7％、15歳以上女性人口に占める比率はわずか9.9％であったが、1970年（昭45）に実数で2倍弱の124,563人、就業者数に占める比率31.3％、15歳以上人口に占める比率17.9％にまで増加した。その後、1980年（昭55）現在において、それぞれは、179,336人（役員を含まない雇用者数は175,167人）、49.7％（23.9％）となり、本県女性就業者の約半数を占めるにいたった。全国と同雇用者の比率はすでに63.8％（役員を含まない場合は、61.9％）に達しているので、本県の女性雇用者数自体はまだ低い水準にあるものの、本県雇用者総数に占める比率は、1955年（昭30）以来一貫して全国の同比率を上回っており、1980年（昭55）には36.7％（役員を含まない場合は、37.5％）に達し、全国の同年同比率34.0％（役員を含まない場合は、34.1％）を、2.7ポイント（3.4ポイント）上回っており、本県女性の雇用者比率の高さを示している。

第14表 本県女性雇用者数及び比率推移（1955～1980年）

	15歳以上女性人口 (A)	女性労働力人口 (B)	女性就業者数 (C)	総数 (D)	女性実数 (E)	雇 用 者							
						女性15歳以上人口に占める比 $\left(\frac{E}{A} \times 100\right)$		女性労働力人口に占める比 $\left(\frac{E}{B} \times 100\right)$		女性就業者数に占める比 $\left(\frac{E}{C} \times 100\right)$		雇用者総数に占める比 $\left(\frac{E}{D} \times 100\right)$	
						県	全国	県	全国	県	全国	県	全国
〔役員を含む〕													
1955年(昭30)	687,265	467,594	462,916	231,345	68,068	9.9		14.6		14.7	33.2	29.4	29.1
1960 ( 35)	675,797	440,288	438,255	268,760	85,172	12.6	21.2	19.3	41.6	19.4	41.9	31.4	30.6
1965 ( 40)	687,767	401,636	397,558	312,637	107,913	15.7	24.2	26.9	48.6	27.1	49.2	34.5	31.4
1970 ( 45)	695,006	402,630	397,473	348,968	124,563	17.9	26.8	30.9	52.6	31.3	53.2	34.9	33.2
1975 ( 50)	718,516	357,681	350,094	413,270	148,334	20.6	27.0	41.5	58.6	42.4	59.7	35.9	32.0
1980 ( 55)	749,224	368,788	360,794	488,016	179,336	23.9	29.3	48.6	62.6	49.7	63.8	36.7	34.0
〔役員を含まない〕													
1970 ( 45)	695,006	402,630	397,473	337,857	122,657	17.6	26.2	30.5	51.5	30.9	52.1	36.3	33.4
1975 ( 50)	718,516	357,681	350,094	397,921	145,702	20.3	26.3	40.7	57.1	41.6	58.1	36.6	33.1
1980 ( 55)	749,224	368,788	360,794	467,671	175,167	23.4	28.5	47.5	60.7	48.6	61.9	37.5	34.1

第15表 本県女性雇用者産業別実数及び構成比推移 (1955～1980年)

	雇 用 者 (役員を含む)										雇 用 者 (役員を含まない)							
	1955年(昭30)		1960 (35)		1965 (40)		1970 (45)		1975 (50)		1980 (55)		1970 (45)		1975 (50)		1980 (55)	
	実 数	構成比	実 数	構成比	実 数	構成比	実 数	構成比	実 数	構成比	実 数	構成比	実 数	構成比	実 数	構成比	実 数	構成比
総 数	68,068	100%	85,172	100%	107,913	100%	124,563	100%	148,334	100%	179,336	100%	122,657	100%	145,702	100%	175,167	100%
第1次産業計	4,785	7.0	3,279	4.0	2,824	2.6	2,446	2.0	3,569	2.4	4,033	2.2	2,410	2.0	3,521	2.4	3,950	2.3
A 農 業	3,853	5.7	2,213	2.6	1,240	1.1	1,391	1.1	2,412	1.6	2,806	1.6	1,376	1.1	2,391	1.6	2,766	1.6
B 林 業・狩猟業	732	1.1	764	0.9	782	0.7	637	0.5	710	0.5	521	0.3	637	0.5	706	0.5	520	0.2
C 漁業・水産業・養殖業	204	0.3	302	0.4	802	0.7	418	0.3	447	0.3	706	0.4	397	0.3	424	0.3	664	0.4
第2次産業計	15,041	22.1	28,446	33.4	35,609	33.0	31,462	25.3	40,851	27.5	48,584	27.1	30,950	25.2	40,032	27.5	47,175	26.9
D 鉱 業	285	0.4	480	0.6	456	0.5	241	0.2	193	0.1	194	0.1	237	0.2	190	0.1	181	0.1
E 建 設 業	2,552	3.7	11,853	13.9	11,954	11.1	6,879	5.5	8,046	5.4	11,075	6.2	6,753	5.5	7,702	5.3	10,317	5.9
F 製 造 業	12,204	17.9	16,113	18.9	23,199	21.5	24,342	19.5	32,612	22.0	37,315	20.8	23,960	19.5	32,140	22.1	36,677	20.9
第3次産業計	48,218	70.8	77,254	90.7	69,372	64.3	90,620	72.8	103,377	69.7	126,665	70.6	89,262	72.8	101,620	69.7	123,988	70.8
G 卸売業・小売業	12,607	18.5	17,479	20.5	23,085	21.4	29,001	23.3	34,995	23.6	43,448	24.2	28,012	22.8	33,824	23.2	41,707	23.8
H 金 融・保険業	2,313	3.4	2,385	2.8	3,775 (2419)	3.5	4,992	4.0	6,702	4.5	8,465	4.7	4,961	4.0	6,653	4.6	8,380	4.8
I 不 動 産 業	23	0.03	34	0.04		222	0.2	514	0.3	757	0.4	196	0.2	466	0.3	639	0.4	
J 運 輸・通信業	2,826	4.2	27,362	32.1	4,922	4.6	4,819	3.9	4,646	3.1	4,929	2.7	4,783	3.9	4,577	3.1	4,816	2.7
K 電気・ガス・水道・熱供給業	301	0.4	306	0.4	378	0.4	484	0.4	448	0.3	545	0.3	483	0.4	445	0.3	544	0.3
L サービス業	21,964	32.3	25,778	30.3	32,601	30.2	40,393	32.4	46,946	31.6	59,017	32.9	40,118	32.7	46,529	31.9	58,398	33.3
M 公 務	8,184	12.0	3,910	4.6	4,611	4.3	10,709	8.6	9,126	6.2	9,504	5.3	10,709	8.7	9,126	6.3	9,504	5.4
N 分 類 不 能	20	0.03	34	0.04	108	0.1	35	0.03	537	0.4	54	0.03	35	0.03	529	0.4	54	0.03



## (2) 産業分類別雇用者状態

第15表によれば、本県女性雇用者（役員を含む）の産業別構成は、1980年（昭55）には、全体の70.6%に当たる126,665人が第3次産業、27.1%の48,584人が第2次産業、2.2%に当たる4,033人が第1次産業の雇用者という順序になっている。こうした順序は、1955年（昭30）以降も大きく変わっていないが、実数的には第3次産業が、1955年（昭30）に48,218人（構成比70.8%）だったのが、その後年々増加の一途をたどり、1975年（昭50）には、10万人を超え、103,377人（構成比69.7%）に達した。そして、1980年（昭55）までに、78,447人、162.7%も増加した。第3次産業での増加の最も著しい部門は、実数も構成比も急速に増加した「卸売業、小売業」部門である。1955年（昭30）に、12,607人、構成比で18.5%だったのが、1980年（昭55）現在では、それぞれ43,448人、24.2%へと増加し、実数で30,841人、244.6%も増加した。次に、構成比ではさほど増加していないものの、実数で大きく増加した部門が、「サービス業」と、「金融・保険業」部門である。「サービス業」では、1955年（昭30）に21,964人だったのが、1965年（昭40）には、32,601人、1975年（昭50）には、46,946人となり、さらに1980年（昭55）には、59,017人とほぼ6万人に達した。1955年（昭30）当時から実に、37,053人、168.9%も増加したことになる。また、「金融・保険業」でも、1955年（昭30）に、わずか2,313人だった女性雇用者は、1970年（昭45）には、8,465人となり、当時から6,152人、266.0%も増加した。

同時に、第2次産業も、構成比で、最高時は1960年（昭35）に33.4%に達したものの、その後は1970年（昭45）に25.3%、1975年（昭50）に27.5%とほぼ一定した割合を示している。しかしながら、実数では、1955年（昭30）の15,041人から年々増加し続け、1975年（昭50）には4万人台を超えて、40,851人に達した。1980年（昭55）までに、33,543人、223.0%も増加したのである。中でも増加の著しいのは、「製造業」である。1955年（昭30）当時、12,204人（構成比17.9%）だった女性雇用者は、その後年々増加し、1965年（昭40）に2万人を超え、23,199人（構成比21.5%）になり、さらに1975年（昭50）には、3万人を超えて、32,612人となった。構成比でも、最高の22.0%に達した。1980年（昭55）には、実数でさらにそれを上回り、33,157人（構成比20.8%）となった。1955年（昭30）当時に比べて、実数で25,111人が増加し、その増加率は205.8%である。

## (3) 年齢階級別雇用者状態

以上のような本県女性の産業分類別雇用者数の現状を、第16表によって、年齢階級別にみると、次のような状態が示しうる。すなわち、本県女性雇用者数の中で、最も多い年齢層は、1980年（昭55）では20～24歳層の35,616人で、全体の構成比は19.9%である。次に多い年齢層は、25～29歳層の20,412人と、45～49歳層の20,366人である。両層は、実数上ではわずかに前者の層が多いものの、全体に占める構成比では、両者は共に11.4%である。こうした傾向は、全国の同実数とは若干異っている。すなわち、全国の同構成比では、20～24歳層の18.4%が第1位であるが、次に多い

年齢層は、25～29歳層で12.5%、その次が35～39歳層、および40～44歳層の11.6%と続き、44～49歳層は11.0%と第6位となっている。また、本県女性雇用者の55～59歳層は、13,675人、構成比7.6%を占めているが、全国の同一年齢層の構成比は、5.3%となっており、2.3ポイント本県が上回っている。

なお、1975年（昭50）と1980年（昭55）との比較でみると、その増加が最も著しい年齢層は、5,770人、57.8%増加した30～34歳層である。その次は、50～54歳層で、3,757人、27.7%増加している。

こうした傾向を産業分類別の関連でみると、まず最も女性雇用者の多い20～24歳層は、その85.5%に当たる30,437人が、第3次産業での雇用者であり、1975年（昭50）の26,764人に比べて3,673人、13.7%の増加となっている。この年齢層は、第3次産業部門内でもその構成比は、24.0%と最高となっている。中でも「サービス業」が最も多く、14,633人で同年齢層の41.1%が雇用者となっていることになる。「サービス業」の中でも、この年齢層が24.8%を占めている。本県女性雇用者の内、1975年（昭50）に比べて、最も増加率の高かった30～34歳層も、第3次産業部門に73.7%が雇用され、同一部門内での構成比では9.2%である。その内最も多い部門は、「サービス業」である。同一部門内では8.4%を占めているにすぎないものの、同一年齢層の4,943人、全体の31.4%を占めている。この年齢層で、1975（昭50）に比べて最も増加した部門は、第3次産業内の「卸売業、小売業」部門であり、同一年齢層の30.4%を占める4,785人が雇用者として働いている。そして同一部門内では、11.0%しか占めていないものの、実数で2,037人、74.1%増加し、同一部門内で24.1%増加している。こうした傾向は、次に増加率の高い50～54歳層でもほぼ同様のことが言える。

次に、本県の女性雇用者状態の特徴の1つである中高年層、中でも全国に比べて2.3ポイントも高い雇用者の構成比を示している55～59歳層の産業分類別雇用状態をみると、一番多い部門は、第3次産業部門で、1980年（昭55）には8,522人、構成比で62.3%を占めている。その中でも、32.7%が「サービス業」部門での雇用者となっている。55～59歳層の第2次産業部門雇用者は4,554人、構成比は33.3%である。その同一部門内の9.4%を占めていることになる。中でも、「建設業」に1,644人、構成比で12.0%が働いている。そしてこの年齢層が、同一部門内の14.8%を占めている。他に「製造業」には2,883人、構成比21.1%が雇用者となっている。また、この年齢層で、1975年（昭50）に比べて増加率の高い部門は、「サービス業」で1,442人、32.3%の増加、次いで「卸売業、小売業」の821人、36.3%の増加、そして「建設業」の568人、34.5%の増加の順となっている。



年齢階級別実数及び割合 (1975年, 1980年比較)

		第 3 次 産 業																							
製 造 業		第 3 次 産 業 計			卸売業・小売業			金融・保険業			不 動 産 業			運輸・通信業			電気・ガス・水道熱供給業			サ ー ビ ス 業			公 務		
構 成 比		実 数 (K)	構 成 比		実 数 (L)	構 成 比		実 数 (M)	構 成 比		実 数 (N)	構 成 比		実 数 (O)	構 成 比		実 数 (P)	構 成 比		実 数 (Q)	構 成 比		実 数 (R)	構 成 比	
$\frac{J}{B} \times 100$	$\frac{J}{A} \times 100$		$\frac{K}{B} \times 100$	$\frac{K}{A} \times 100$		$\frac{L}{B} \times 100$	$\frac{L}{A} \times 100$		$\frac{M}{B} \times 100$	$\frac{M}{A} \times 100$		$\frac{N}{B} \times 100$	$\frac{N}{A} \times 100$		$\frac{O}{B} \times 100$	$\frac{O}{A} \times 100$		$\frac{P}{B} \times 100$	$\frac{P}{A} \times 100$		$\frac{Q}{B} \times 100$	$\frac{Q}{A} \times 100$		$\frac{R}{B} \times 100$	$\frac{R}{A} \times 100$
—	22.0	103,377	—	69.7	34,995	—	23.6	6,702	—	4.5	514	—	0.3	4,646	—	3.1	448	—	0.3	46,946	—	31.6	9,126	—	6.2
—	20.8	126,665	—	70.6	43,448	—	24.2	8,465	—	4.7	757	—	0.4	4,929	—	2.7	545	—	0.3	59,017	—	32.9	9,504	—	5.3
4.2	14.5	7,897	7.6	83.8	2,625	7.5	27.9	895	13.4	9.5	28	5.4	0.3	338	7.3	3.6	14	3.1	0.1	3,760	8.0	39.9	237	2.6	2.5
3.3	14.0	7,330	5.8	84.0	2,488	5.7	28.5	725	8.6	8.3	32	4.2	0.4	336	6.8	3.9	25	4.6	0.3	3,534	6.0	40.5	190	2.0	2.2
13.8	13.9	26,764	25.9	83.0	9,485	27.1	29.4	2,297	34.3	7.1	171	33.3	0.5	1,572	33.8	4.9	93	20.8	0.3	11,582	24.7	35.9	1,564	17.1	4.8
10.9	11.4	30,437	24.0	85.5	10,041	23.1	28.2	2,768	32.7	7.8	189	25.0	0.5	1,180	23.9	3.3	106	19.4	0.3	14,633	24.8	41.1	1,520	16.0	4.3
7.0	15.1	12,222	11.8	80.5	4,655	13.3	30.7	416	6.2	2.7	79	15.4	0.5	603	13.0	4.0	58	12.9	0.4	5,637	12.0	37.1	774	8.5	5.1
7.5	13.7	16,624	13.1	81.4	5,971	13.7	29.3	878	10.4	4.3	118	15.6	0.6	725	14.7	3.6	68	12.5	0.3	7,819	13.2	38.3	1,045	11.0	5.1
7.2	23.4	7,052	6.8	70.6	2,748	7.9	27.5	254	3.8	2.5	35	6.8	0.4	386	8.3	3.9	36	8.0	0.4	3,129	6.7	31.3	464	5.1	4.6
8.5	20.2	11,616	9.2	73.7	4,785	11.0	30.4	557	6.6	3.5	85	11.2	0.5	527	10.7	3.3	57	10.5	0.4	4,943	8.4	31.4	662	7.0	4.2
12.5	31.9	7,598	7.3	59.4	3,051	8.7	23.8	277	4.1	2.2	46	8.9	0.4	337	7.3	2.6	28	6.3	0.2	3,385	7.2	26.4	474	5.2	3.7
11.1	26.4	10,366	8.2	66.2	4,210	9.7	26.9	601	7.1	3.8	62	8.2	0.4	459	9.3	2.9	40	7.3	0.3	4,336	7.3	27.7	658	6.9	4.2
17.1	32.9	9,660	9.3	56.9	3,753	10.7	22.1	488	7.3	2.9	27	5.3	0.2	427	9.2	2.5	52	11.6	0.3	4,262	9.1	25.1	651	7.1	3.8
15.7	32.3	10,571	8.3	58.3	4,254	9.8	23.5	543	6.4	3.0	58	7.7	0.3	404	8.2	2.2	43	7.9	0.2	4,652	7.9	25.7	617	6.5	3.4
15.4	28.1	10,658	10.3	59.9	3,413	9.8	19.2	636	9.5	3.6	38	7.4	0.2	454	9.8	2.6	46	10.3	0.3	5,195	11.1	29.2	876	9.6	4.9
16.7	30.6	11,620	9.2	57.1	4,313	9.9	21.2	635	7.5	3.1	55	7.3	0.3	478	9.7	2.3	61	11.2	0.3	5,366	9.1	26.3	712	7.5	3.5
11.2	24.4	9,248	8.9	62.0	2,564	7.3	17.2	669	10.0	4.5	40	7.8	0.3	286	6.2	1.9	59	13.2	0.4	4,636	9.9	31.1	994	10.9	6.7
12.9	25.8	11,333	8.7	60.7	3,461	8.0	18.5	721	8.5	3.9	49	6.5	0.3	447	9.1	2.4	51	9.4	0.3	5,758	9.8	30.8	846	8.9	4.5
6.8	22.1	6,202	6.0	62.1	1,440	4.1	14.4	410	6.1	4.1	20	3.9	0.2	147	3.2	1.5	27	6.0	0.3	3,025	6.4	30.3	1,133	12.4	11.3
7.7	21.1	8,522	6.7	62.3	2,261	5.2	16.5	569	6.7	4.2	53	7.0	0.4	244	5.0	1.8	47	8.6	0.3	4,467	7.6	32.7	881	9.3	6.4
3.4	19.3	3,734	3.6	65.5	755	2.2	13.2	247	3.7	4.3	19	3.7	0.3	74	1.6	1.3	20	4.5	0.4	1,554	3.3	27.3	1,065	11.7	18.7
3.7	19.3	4,538	3.6	63.1	1,019	2.3	14.2	299	3.5	4.2	27	3.6	0.4	81	1.6	1.1	26	4.8	0.4	2,129	3.6	29.6	957	10.1	13.3
1.2	17.5	1,617	1.6	69.7	319	0.9	13.8	95	1.4	4.1	6	1.2	0.3	19	0.4	0.8	8	1.8	0.3	589	1.3	25.4	581	6.4	25.0
1.4	15.0	2,372	1.9	70.4	410	0.9	12.2	122	1.4	3.6	16	2.1	0.5	37	0.8	1.0	16	2.9	0.5	908	1.5	27.0	863	9.1	25.6
0.4	16.6	550	0.5	73.6	131	0.4	17.5	16	0.2	2.1	4	0.8	0.5	3	0.1	0.4	4	0.9	0.5	141	0.3	18.9	251	2.8	33.6
0.5	14.1	954	0.8	75.2	154	0.4	12.1	44	0.5	3.5	7	0.9	0.6	6	0.1	0.5	4	0.7	0.3	347	0.6	27.4	392	4.1	30.9
0.1	17.2	1,094	1.1	58.8	44	0.1	23.7	2	0.03	1.1	1	0.2	0.5	—			3	0.7	1.6	39	0.1	21.0	51	0.6	27.4
0.1	12.7	308	0.8	78.0	59	0.1	14.9	3	0.04	0.8	4	0.5	1.0	—			1	0.2	0.3	101	0.2	25.6	140	1.5	35.4
0.02	17.1	26	0.03	74.3	11	0.03	31.4	—			—			—			—			8	0.02	22.9	7	0.1	20.0
0.03	15.7	61	0.1	74.5	18	0.04	21.7	—			2	0.3	2.4	3	0.1	3.6	—			18	0.03	21.7	20	0.2	24.1
0.01	25.0	9	0.01	56.3	1	0.003	6.2	—			—			—			—			4	0.01	25.0	4	0.04	25.0
0.02	28.6	13	0.01	61.9	4	0.01	19.0	—			—			2	0.04	9.5	—			6	0.01	28.6	1	0.01	4.8